

オンライン診療で

輪島・マリンタウンで開始

被災者の健康確認

輪島市マリンタウンのコミセンマリンタウンBASEで7日、インターネットなどを活用した遠隔診療が本格的に始まった。施設は仮設住宅団地の敷地にある

復興交流の拠点で、医師が被災地の住民の健康づくりに貢献する。

施設を運営する佛子園(白山市)が、医療と福祉、住民間交流を融合した新し



いコミュニティづくりを目指して始めた。松田小児科・消化器IBDクリニック

ク(金沢市)の松田耕一郎院長(54)が木曜日を除く平日と土曜日に、同施設を拠点にオンライン診療を行い、木曜日は実際に施設に向いて対面診療を行う。松田院長は、受診希望者や施設職員らに取り組みを

対面診療をする松田院長(右)
|| 輪島市マリンタウンのコミ
センマリンタウンBASE

紹介した。「患者さんと直接話す機会があることで、目線を合わせることができると話した。

佛子園では今後、同団体が運営するコミセン鳳至BASEやコミセン門前BASEにも取り組みを広げていく方針。災害が発生した地域で、被災者が医療を受けやすくするモデルとしても活用していく考えだ。